



TOA Valve Engineering Inc.



平成26年10月31日

各位

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社  
 代表者名 代表取締役 唐澤 裕一  
 コード番号 6466  
 上場取引所 東証市場第2部  
 本社所在地 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号  
 問い合わせ先 管理本部長 飯田 明彦  
 TEL 06(6416)1150

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年11月12日に公表した平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日から平成26年9月30日まで）を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

金額単位：百万円

平成26年9月期連結業績予想数値の修正（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	7,500	▲ 550	▲ 530	▲ 560	▲ 239.84
今 回 修 正 予 想 (B)	7,083	▲ 1,198	▲ 1,120	▲ 1,159	▲ 458.39
増 減 額 (B-A)	▲ 417	▲ 648	▲ 590	▲ 599	-
増 減 率 (%)	-5.6	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成25年9月期)	8,330	83	137	▲ 262	▲ 112.43

#### 修正の理由

当期の損益については、第3四半期を終えた時点で既に当初想定を下回る状況でしたが、当時、第4四半期の3か月間で25億円前後の売上を計画し、この間については十分に黒字が見込まれる状況であったため、通期では当初の想定に近づく可能性が高いとしてここまで業績の修正をしてまいりませんでした。

しかし最終的には、原発関連案件の一部で工期が来期に延期されるなどで売上が想定を4億円以上も下回ったことに加え、受注損失引当金の新規計上等により採算がさらに悪化し、当連結会計年度の業績は、売上高70億83百万円、営業損失11億98百万円、経常損失11億20百万円、当期純損失11億59百万円となる見込みとなりました。

いわゆる3.11以降の受注環境激変により、収益性の高い原発向けバルブメンテナンスの売上が大幅に減少する状況が継続し、収益性の厳しいバルブ製品及び火力発電所向けのバルブメンテナンスに収益の中心がシフトしていることから、全体的に十分な限界利益を確保することができていない状況です。

これに加え当期は、絶対的な売上高不足の中で当初想定以上の減収となったことにより、損失額が大幅に拡大する結果となりました。

以 上